

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第20期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社ガーラ
【英訳名】	GALA INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役グループCEO 菊川 暁
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷三丁目12番22号
【電話番号】	03(5778)0321（代表）
【事務連絡者氏名】	国内子会社管理部門担当部長 藤田 公司
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷三丁目12番22号
【電話番号】	03(5778)0321（代表）
【事務連絡者氏名】	国内子会社管理部門担当部長 藤田 公司
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第1四半期連結 累計期間	第20期 第1四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	1,221,378	733,022	4,266,039
経常利益又は 経常損失()(千円)	83,642	102,886	85,975
四半期純利益又は 当期純損失()(千円)	32,981	129,709	512,967
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	5,421	13,119	624,203
純資産額(千円)	3,028,270	2,371,419	2,389,935
総資産額(千円)	4,362,159	3,273,013	3,469,215
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額() (円)	310.47	1,221.03	4,828.84
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	65.1	66.2	62.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 前期は当期純損失を計上しているため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は記載しておりません。

4. 前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、スマートフォンゲーム事業に進出いたしました。一方、事業の選択と集中によりデータマイニング事業から撤退いたしました。これに伴い、当社の関係会社は連結子会社が1社増加し、当第1四半期連結会計期間末に連結子会社が1社減少いたしました。

これは、当社グループが取り組んでいるオンラインゲーム事業を中心とするグローバルなビジネス展開の推進による、世界規模のビジネスネットワークの構築に向けて、主に欧州言語圏で展開するオンラインゲーム事業の拡大と、新規事業であるスマートフォンゲーム事業のグローバル展開を進めるものであります。これら事業に当社グループの経営資源を集中させるため、データマイニング事業から撤退し当該事業子会社の株式を譲渡いたしました。

この結果、平成24年6月30日現在では、当社グループは、当社及び連結子会社7社により構成されることとなり、オンラインゲーム事業、スマートフォンゲーム事業、コミュニティ・ソリューション事業の3事業を営むこととなりました。なお、セグメント情報の報告セグメントの区分に変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成24年4月25日開催の取締役会において、(株)ホットリンクに連結子会社(株)ガーラバズの全株式を譲渡することについて決議を行い、平成24年5月31日に株式譲渡契約を締結しました。

詳細は、「第4 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績の概況は、連結売上高 733,022千円（前年同四半期比40.0%減）となり、大幅な減収となりました。

これは、オンラインゲーム事業の主力ゲームの売上高が全セグメントで減少した影響によるものであります。減少の主な要因としては前連結会計年度に実施した大型アップデートによるゲームバランスの悪化や欧米でのハッキングによるユーザー離れであります。

また、従前より販売費及び一般管理費の圧縮が進んできているものの、売上高減少に伴う利益減少分を補うに至らず、営業損失 167,145千円（前年同四半期営業利益 87,317千円）、経常損失 102,886千円（前年同四半期経常利益 83,642千円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間にて、連結子会社(株)ガーラバズの全株式の譲渡に伴い関係会社株式売却益 279,659千円を計上し、四半期純利益は 129,709千円（前年同四半期比293.3%増）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

日本

日本では、オンラインゲーム事業において、アップデートによるゲームバランスの悪化やハッキングによるユーザー離れの影響を受け減少いたしました。なお、連結子会社(株)ガーラジャパンにおいては引続き新規タイトル提供準備を実施しております。

また、スマートフォンゲーム事業の開始により連結子会社(株)ガーラポケットを設立し、当社韓国事業所でもシステム開発等のサービス開始準備を進め、第1四半期連結会計期間末ではスペイン語でのサービス提供を開始いたしました。

これらの結果、当社及び連結子会社による売上高は184,022千円と前年同四半期比で16,330千円（8.2%）の減収となり、セグメント損失が75,739千円（前年同四半期は74,694千円の損失）となりました。

米州

米州では、オンラインゲーム事業において、チャネリングの推進、新規タイトルの提供準備を実施いたしました。米州においてもアップデートによるゲームバランスの悪化やハッキングによるユーザー離れの影響を受け、連結子会社Gala-Net Inc. 及び連結子会社Gala-Net Brazil Ltd.による売上高は167,533千円と前年同四半期比で136,755千円（44.9%）の減収となり、セグメント損失が52,548千円（前年同四半期は26,504千円の利益）となりました。

欧州

欧州では、オンラインゲーム事業において、既存タイトルのプロモーション、新規タイトルの準備準備を実施いたしました。欧州においてもアップデートによるゲームバランスの悪化やハッキングによるユーザー離れの影響を受け、連結子会社Gala Networks Europe Ltd. による売上高は349,856千円と前年同四半期比で273,158千円（43.8%）の減収となり、セグメント損失が15,948千円（前年同四半期は137,766千円の利益）となりました。

韓国

韓国では、オンラインゲーム事業において、自社開発ゲームのアップデートによるゲームバランスの悪化により、パブリッシング収入とパブリッシャーからのロイヤリティ収入の両面で大幅な減収となりました。また、「ETERNAL BLADE」（エターナルブレード）の日米欧での商業化に備え、引き続き開発に注力いたしました。これらの結果、連結子会社Gala Lab Corp.による売上高は155,787千円と前年同四半期比で132,805千円（46.0%）の減収となり、セグメント損失が45,836千円（前年同四半期は3,975千円の損失）となりました。

（２）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、前連結会計年度に掲げた課題のうち、新規事業展開に関する課題については、当第1四半期連結累計期間において、次のように対処しております。

- スマートフォンゲーム事業を行う㈱ガーラポケットを設立。
- スマートフォンゲーム事業のスペイン語でのサービス提供を開始。

（３）研究開発活動

該当事項はありません。

（４）経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループでは、「オンライン・コミュニティ」を中心としてビジネス展開を行い、継続的な収益の拡大を実現するため、オンラインゲーム事業を中心にグローバルなビジネス展開を推進し、世界規模のビジネスネットワークの構築にむけて取り組んでおります。

オンラインゲーム事業におきましては、北米・欧州のPC向けオンラインゲーム市場は引き続き拡大することが見込まれており、また、他地域でもオンラインゲーム市場の拡大が見込まれる地域において、当社グループとして、提供するオンラインゲームタイトルの増加、開発したオンラインゲームの他地域へのライセンス展開を引き続き進めていく予定であります。

また、インターネット環境の変化に適應し、強力な事業ポートフォリオを構築すべく、既存のオンラインゲーム事業の資源を活用した新規事業であるスマートフォンゲーム事業を展開し、新たな収益獲得基盤を構築すべく注力してまいります。

（５）経営者の問題認識と今後の方針について

インターネット環境が日々進化し普及率が高まるにつれて、個人消費者におけるインターネット環境が向上し、人々の関わり方にも変化がもたらされています。

当社グループにおきましては、インターネットにおけるコミュニティ関連サービスの提供を通じて、世界中の人々の交流を促進し、地球規模での人と人との交流を大切にしたいと考えております。インターネットにおける人々のコミュニケーションの促進を図るオンラインゲームを中核とするオンライン・コミュニティを中心としたビジネスをグローバルに展開し、リーディングカンパニーとなるための競争優位性の確立期と認識しております。

中長期的には以下の戦略において事業展開を計画しております。

オンラインゲーム事業

欧米言語圏（主な地域としては、北米、欧州、南米）でのMMORPGを中心としたゲームポータルサービスの確立を目指します。今後もグループ会社を中心に優良なオンラインゲームを開発し、サービス提供することにより、継続的かつ高収益を目指し、グローバルなオンラインゲームカンパニーの地位の早期確立を目指します。

スマートフォンゲーム事業

当社グループのグローバルネットワークやコミュニティ構築のノウハウ、ゲーム開発及び運営ノウハウを活かし、スマートフォン向けのゲームアプリ分野に進出し、スマートフォンゲーム市場においても、グローバルなサービスを開始すべく注力してまいります。

また、オンラインゲーム事業との連携によりサービス拡充と収益拡大を目指します。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	392,920
計	392,920

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	106,230	106,230	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株 制度は採用し ておりませ ん。
計	106,230	106,230	-	-

(注) 「提出日現在発行数」には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	106,230	-	2,171,582	-	311,151

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 106,230	106,230	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	106,230	-	-
総株主の議決権	-	106,230	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	461,332	507,416
受取手形及び売掛金	193,160	121,111
預け金	7,095	6,972
繰延税金資産	55,536	54,338
その他	107,325	105,149
貸倒引当金	717	515
流動資産合計	823,734	794,472
固定資産		
有形固定資産	212,433	178,304
無形固定資産		
ソフトウェア	1,060,284	1,041,736
権利金	125,960	82,368
のれん	804,634	770,017
その他	6,479	4,910
無形固定資産合計	1,997,359	1,899,033
投資その他の資産		
破産更生債権等	155,000	155,000
その他	435,688	401,202
貸倒引当金	155,000	155,000
投資その他の資産合計	435,688	401,202
固定資産合計	2,645,480	2,478,540
資産合計	3,469,215	3,273,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,597	53,491
短期借入金	236,330	129,341
1年内返済予定の長期借入金	24,978	-
前受金	160,534	144,558
未払法人税等	16,731	32,917
決済キャンセル引当金	2,124	1,512
賞与引当金	18,848	2,650
その他	327,750	346,396
流動負債合計	870,896	710,868
固定負債		
退職給付引当金	130,395	116,923
その他	77,988	73,801
固定負債合計	208,383	190,725
負債合計	1,079,279	901,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,171,582	2,171,582
資本剰余金	700,041	700,041
利益剰余金	134,353	5,175
株主資本合計	2,737,270	2,866,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,511	14,556
為替換算調整勘定	555,293	686,239
その他の包括利益累計額合計	564,804	700,795
新株予約権	158,250	153,385
少数株主持分	59,219	52,381
純資産合計	2,389,935	2,371,419
負債純資産合計	3,469,215	3,273,013

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,221,378	733,022
売上原価	265,918	154,454
売上総利益	955,459	578,568
販売費及び一般管理費	868,142	745,714
営業利益又は営業損失()	87,317	167,145
営業外収益		
受取利息	1,257	1,683
為替差益	-	63,704
その他	413	446
営業外収益合計	1,671	65,834
営業外費用		
支払利息	2,578	1,387
為替差損	2,592	-
その他	174	188
営業外費用合計	5,346	1,575
経常利益又は経常損失()	83,642	102,886
特別利益		
新株予約権戻入益	438	8,469
関係会社株式売却益	-	279,659
その他	560	-
特別利益合計	998	288,128
特別損失		
減損損失	-	17,967
その他	-	4,373
特別損失合計	-	22,340
税金等調整前四半期純利益	84,641	162,901
法人税、住民税及び事業税	52,311	22,278
法人税等調整額	650	12,391
法人税等合計	51,660	34,670
少数株主損益調整前四半期純利益	32,981	128,230
少数株主損失()	-	1,478
四半期純利益	32,981	129,709

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,981	128,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,931	5,044
為替換算調整勘定	25,628	136,305
その他の包括利益合計	27,559	141,350
四半期包括利益	5,421	13,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,421	6,281
少数株主に係る四半期包括利益	-	6,838

【連結の範囲又は持分法適用範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新規設立した(株)ガーラポケットを連結の範囲に含めております。また、当第1四半期連結会計期間に(株)ガーラバズの全株式を譲渡したため、当第1四半期連結会計期間末に連結の範囲から除外しております。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	112,577千円	71,254千円
のれんの償却額	37,080千円	34,616千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	195,455	303,422	611,297	111,203	1,221,378	-	1,221,378
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	4,897	866	11,717	177,389	194,871	194,871	-
計	200,353	304,288	623,014	288,592	1,416,249	194,871	1,221,378
セグメント利益又は セグメント損失()	74,694	26,504	137,766	3,975	85,600	1,716	87,317

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額1,716千円は、セグメント間取引消去1,716千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	韓国	計		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	153,330	167,485	349,767	62,439	733,022	-	733,022
(2) セグメント間 の内部売上高又は 振替高	30,691	48	88	93,348	124,177	124,177	-
計	184,022	167,533	349,856	155,787	857,199	124,177	733,022
セグメント損失()	75,739	52,548	15,948	45,836	190,072	22,926	167,145

(注)1. セグメント損失の調整額22,926千円は、セグメント間取引消去22,926千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、Gala-Net Brazil Ltd.を連結子会社に含めたことにより、「米国」を「米州」に名称変更し、当該連結子会社を「米州」としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米州」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、17,967千円であります。

(企業結合等関係)

事業分離

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

(株)ガーラバズ

(2) 分離した事業の内容

その他事業(データマイニング事業)

(3) 事業分離を行った主な理由

主に欧州言語圏で展開するオンラインゲーム事業の拡大と、新たな事業であるスマートフォンゲーム事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させることが最重要と判断し、当該連結子会社の株式譲渡にかかる収益及び資金を充当し、当社グループの成長、拡大を図るものであります。

(4) 事業分離日

平成24年5月31日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 特別利益の金額

279,659千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産 44,606千円

固定資産 2,726千円

資産合計 47,333千円

流動負債 26,992千円

負債合計 26,992千円

(3) 会計処理

(株)ガーラバズの株式の連結上の帳簿価額と、売却価額との差額を関係会社株式売却益として特別利益に計上しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

日本

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている(株)ガーラバズに係る損益の概算額

売上高 63,904千円

営業利益 23,293千円

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	310円47銭	1,221円03銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	32,981	129,709
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	32,981	129,709
普通株式の期中平均株式数(株)	106,230	106,230

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月8日

株式会社ガーラ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 沼田 敦士 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 博久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ガーラの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ガーラ及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。